

第7回富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会 議案顛末

日時：平成30年10月10日（水）
午後6時00分～午後7時15分
場所：富良野市役所 第三会議室

1. 開 会

（西野企画振興課長）

2. あいさつ

（座長）

3. 議 題

（1）第6回懇談会での各委員からの意見に対する取組状況について【資料1】

事務局より説明。

（委員）

- ・“障がい者の地域受入体制について”の新規学卒者の受入は、養護学校を想定しているのか。

（事務局）

- ・富良野圏域での受入需要は高まっており、事業所と連携しながら、受入体制の整備を図っていきたい。

（委員）

- ・“子育て環境について”ですが、秩父別町では多くの方が子育て施設を利用している状況であり、富良野圏域でもそうした場所ができることを期待したい。

（2）富良野地区定住自立圏共生ビジョンの進行管理について【資料2】

事務局より説明。

＝特になし＝

（3）第2次富良野地区定住自立圏共生ビジョンの策定について【資料3】

事務局より説明。

（座長）

- ・第2次共生ビジョン策定において、継続するものや削除するもの新たに取り組むべき事業などは、第1次共生ビジョンと比較した形で提示されるのか、それとも出来上がった形で提示されるのか。

（事務局）

- ・第2次共生ビジョンは、現行ビジョンを引き継ぐ形で考えており、対象事業は整理した形で提案したいと考えている。

（座長）

- ・出来上がった形で提案されると判断が付かない部分もあるので、わかりやすい形で提案していただきたい。

(事務局)

- ・資料を工夫し、わかりやすい形で提案していきたい。

(座長)

- ・次回懇談会の日程は、事務局で調整し、早めにご連絡したいと思います。
- ・最後に、本日の議題全体や皆様の団体等で課題になっていること、また今回の地震・停電で浮き彫りになった課題などがあれば、今後の富良野圏域での検討事項となりますので皆様から発言を求めたいと思います。

(委員)

- ・停電の際、上富良野町では役場と保健福祉センターには自家発電機があり、在宅で入れない方などの受入を行った。
- ・上富良野町社会福祉協議会としては、生活困難者へ懐中電灯や電池を配って歩いた。
- ・2日間の停電で色々な課題が見えたので、富良野圏域として対策を考えていかななくてはならないと感じている。

(委員)

- ・中富良野町には自家発電機があり、町の対策として大きいことだと感じた。
- ・共生ビジョンが、第1次から第2次へ繋がることは非常に有意義だと感じている。
- ・医師確保は難しく大きな課題であるが、対策が必要であると感じている。

(委員)

- ・南富良野町では過去に豪雪による停電も経験しており、今回の地震・停電への対応も過去の経験がいかされ、住民に安心感を与えられた。
- ・災害に対応するマニュアルを行政が中心となり整備する中で、住民や団体等がそれに対する訓練を積み重ねていく必要がある。

(委員)

- ・地域センター病院として常勤医師数が減少しており、内科医は0人という状況であるが、医師確保に努めているが簡単な問題ではないことをご理解いただきたい。
- ・災害拠点病院にも指定されており、地震・停電の際でも医療は行える体制は整備されているが、実際には100%の医療が行えない状況であった。
- ・災害拠点病院としてBCP(事業継続計画)の策定を求められていることから、災害でも営業できる体制づくりを図っていきたい。

(委員)

- ・グループホームとして、地震・水害・火災の対応マニュアルはあるが、ブラックアウトを想定したマニュアルはなく、自家発電機もないことから電気の確保が課題となった。
- ・災害時に電気は必要であることから自家発電機の確保が重要であるため、障がい者施設や高齢者施設等に対し、非常時ために行政で備蓄したものを貸し出す仕組みがあるとよいのではないか。
- ・災害時のマニュアルの中で、富良野圏域での障がい者施設や高齢者施設等への対応方法の共有が図られるとよいのではないか。

(委員)

- ・ふらの農協として、今回の災害で経験したことをBCP(事業継続計画)に書き留めて

おき、しっかりとしたマニュアルづくりを行わなくてはならないと考えている。

- 共生ビジョンについては、第1次のPDCAをしっかり行い、第2次にいかして欲しい。
- 地域医療は、生活・人命において重要であることから、医師確保の取り組みは強化していかななくてはならない。

(委員)

- 災害の際、ラジオふらのでは発電機により、災害放送に切り替えた。
- ラジオふらのも北電と災害や停電時の協定を結んでいるが、実際は何も機能しなかった状況である。
- 災害時に情報を集める仕組み、広域で情報を共有できるネットワークが必要ではないか。

(委員)

- 災害時に民間ボランティアを一括して受け入れる体制を広域としても取り組めるとよいのではないか。

(座長)

- 本日用意していた議題はすべて終了となります。
- この後、11月及び1月と共生ビジョン懇談会を予定しておりますので、ご協力をお願いします。

4. その他

＝特になし＝

5. 閉 会

(西野企画振興課長)